

第 21 回文京区看護職交流会
事後アンケート集計結果

I. 開催概要

- ・ 日時：2026.2.12（木） 18:30-20:00
- ・ 場所：文京区区民センター3A 会議室
- ・ 参加者：50 名（事前申込者 48, 欠席者 1, 当日参加者 3）

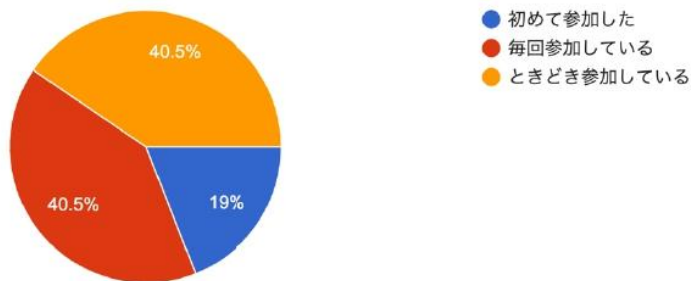
II. アンケート結果

受講者回収数 42（回収率：84.0%）→今までにない高回収率でした

【結果概要】

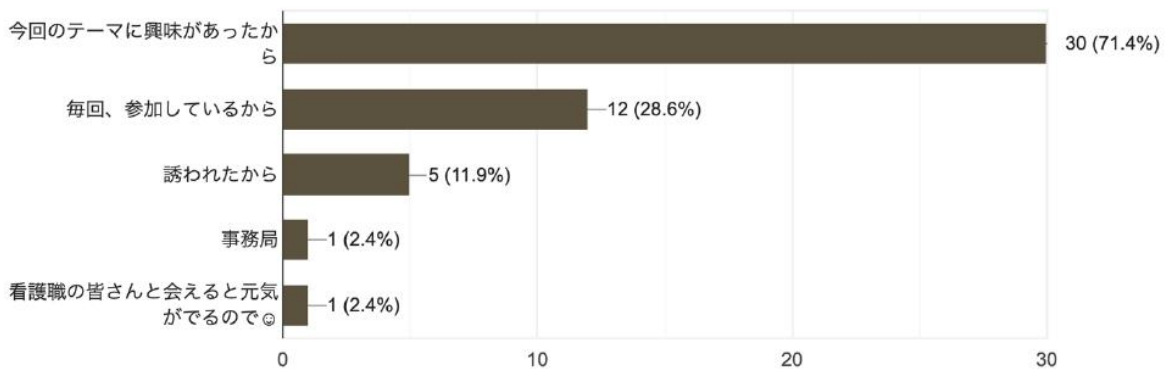
1. 今回の参加は何回目ですか？ ご参加の頻度についてお尋ねします。

42 件の回答



2. 今回、なぜ参加しようと思いましたか？（複数選択可）

42 件の回答



3. 今日の交流会は今後のあなたに生かせそうですか？

42 件の回答



- はい
- いいえ
- どちらでもない



4. 交流会の感想：生データを 1)～6)の 6 カテゴリに分類

1) ナース座の演劇への評価 (15 件)

- 演技の質や表現力への肯定的な評価
- 劇を通じた事例理解のしやすさ
- 感情移入や「自分ごと」として捉えられた体験
- 次回公演への期待

<代表的なコメント例>

- 「演技を通してよりリアルに実感でき、自分ごととして捉えることができました」
- 「ナース座の皆様すてきな演技をありがとうございました」
- 「みなさん演技が素晴らしい！」

2) グループワーク・意見交換の有益性 (22 件)

- 多様な意見や立場の視点を聞いたこと
- 自分の考えの整理や深化
- 他職種・他背景との対話の価値
- 刺激的な議論や学び

<代表的なコメント例>

- 「色々な方の意見がきけてとても参考になりました！」
- 「自分の意見だけでなく、グループを通して話し合い、様々な意見が出たので大変勉強になりました」
- 「グループワークは好きなので、とても良かった」

3) テーマ・内容への関心 (7 件)

- ACP という題材のタイムリーさ
- 終末期ケアや家族支援への示唆
- DFCS など専門的内容への興味
- 日々の実践との関連性

<代表的なコメント例>

- 「ACP は生きている上では必ず関わることだと思います」
- 「ACP は私にとってタイムリーな題材でした」
- 「日々の業務でも最期をどう迎えるか、ご家族もとても悩むところで」
- 「DFCS の話は興味深かった」

4) 対面交流の価値 (4 件)

- 直接会って話すことの重要性
- 居心地の良さやほんわかした雰囲気
- Zoom 開催との対比での対面の意義

<代表的なコメント例>

- 「直接会って話すことは毎回收穫が多いです。ZOOM 開催が多い中、集まる交流会は大事だと感じます」
- 「ほんわかとして居心地よい会です」

5) 運営・進行への評価 (3 件)

- 内容の体系化とわかりやすさ
- テキパキとした進行
- 全体的な満足度

<代表的なコメント例>

- 「進行がテキパキとしていて、ナース座もわかりやすく勉強になりました」
- 「内容もよく体系化されていてわかりやすかったです」

6) 職業的アイデンティティの再確認 (2 件)

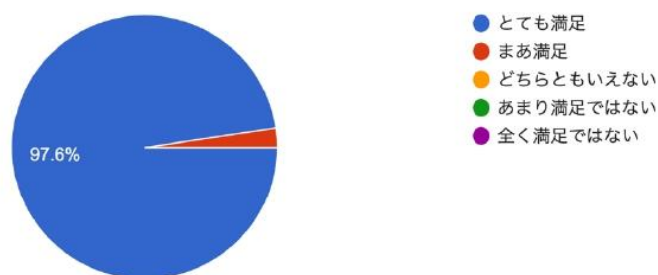
- 看護職としての仕事への誇りや喜び
- 専門職としての学びの活力

<代表的なコメント例>

- 「皆様の意見を聞かせていただき、看護師という職業につけた事が本当によかったと思いました」
- 「色々な意見を聞けて、本当に勉強になり活力になります」

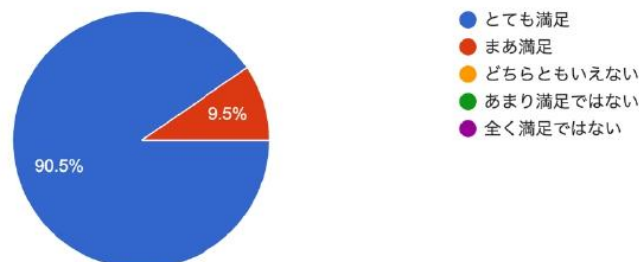
5. 本日の内容についてお尋ねします。演劇 (第 1 幕、第 2 幕) の満足度を教えてください

42 件の回答



6. 本日の内容についてお尋ねします。グループワークの満足度を教えてください

42 件の回答



7. 今後の活動に期待すること、実施してほしいこと（とりまとめて記載）

カテゴリ	件数	主な内容
ナース座（演劇）の継続・発展	11 件	☐ 次回公演への期待 ☐ 演劇形式の継続希望 ☐ 異なるバージョンの ACP 劇 ☐ 演劇とディスカッションの組み合わせ継続
グループワーク・交流機会の継続	10 件	☐ グループワーク形式の継続 ☐ ステーション間交流の場の維持 ☐ 多様な意見交換の機会 ☐ 気軽に参加できる雰囲気づくり
定期的な開催の要望	8 件	☐ 継続的な実施への期待 ☐ 定期的な参加機会 ☐ 活動の持続性への希望
多職種連携・参加者の拡大	5 件	☐ 看護職以外の参加 ☐ 医師の参加希望 ☐ 多職種での症例検討会 ☐ 若い活動支援者の参加 ☐ 参加者増加への期待
具体的なテーマ提案	4 件	☐ 虐待について ☐ モンスター家族への対応 ☐ 地域包括ケアシステム構築に関する文京区の課題 ☐ その他現場に活かせるテーマ
研修内容への要望	4 件	☐ 現場で活かせる研修 ☐ 医療職のモチベーション向上企画 ☐ わかりやすい内容の継続 ☐ 今日のようなミニ講話

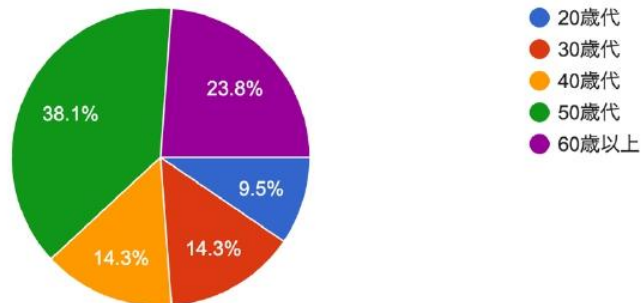
8. 今後、取り上げてほしいテーマ

- ・ 終末期を迎える家族の対応/国籍が違う方ご家族などへの終末期対応
- ・ 自宅での看取りについて
- ・ 多職種連携 精神科訪問看護
- ・ 母子や精神など、色々な看護について学びたいです。
- ・ 虐待
- ・ 認知症の方、ご家族との関わりについて
- ・ 毎月の計画書報告書作成、残業してるか就労時間内に終わらせているのかリアルな実態を聞きたい
- ・ 在宅療養の達人に聞く
- ・ 高齢期の生活を健康に過ごすための区民の工夫
- ・ 痛みと苦しみの軽減の為に看護、リハ、医療
- ・ 睡眠を上手に取るための支援 薬に頼らないノウハウ
- ・ 家族の健康を守るためのケア教室
- ・ アセスメント力を高めるための事例検討
- ・ ガン末の薬品管理等

9.欠番

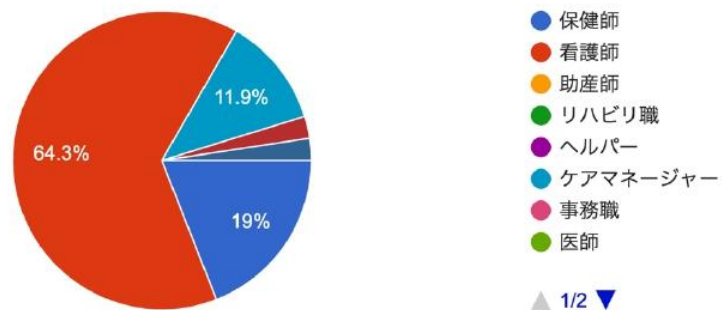
10.あなたのご年齢を教えてください

42件の回答



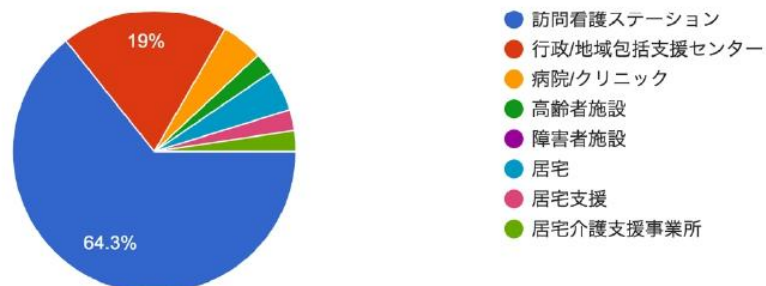
11.職種を教えてください（現在、主として従事している職種をお答えください）

42件の回答



12.ご所属先を教えてください

42件の回答



【参考：今後の活動への期待（生データ）】

- ・ また、違うバージョンで ACP を考えたい
- ・ グループワークを通じて色々な意見が聞け、勉強になります。
- ・ 看護職以外も含めた勉強会があると、知識の幅が広がると思いました！
- ・ またナース座期待しています！
- ・ また演劇を見ながら皆でディスカッションしたいです
- ・ ナース座の次作に期待してます！
- ・ 劇団がわかりやすかったです
- ・ どんなテーマでも勉強になると思います
- ・ 頑張ってください
- ・ 現場でいかせる研修会を、今後もよろしくお願い致します。
- ・ ドクターも参加してほしい
- ・ 演劇だと内容が入ってきやすかったため今後も演劇を入れていただけると嬉しいです
- ・ ナース座のような活動継続して欲しいです
- ・ ACP はいつでもできるように日々の関わりで利用者家族に寄り添って、看護介入していきます。
- ・ 若い活動支援者がほしいです。
- ・ 今後も宜しくお願いします
- ・ 虐待について
- ・ 今回のように、医療職のモチベーションや元気がもらえる企画が嬉しいです。
- ・ 多職種で交流出来る勉強会が好きなので、症例検討会を期待します。
- ・ 看護職交流会はとてもわかりやすいので、今後も期待してます
- ・ 定期的に開催して欲しい。
- ・ 他ステーションの方と、交流をもてる機会をぜひ続けていただきたいと思います
- ・ また、第三弾お願いします
- ・ このような活動が続く事を望んでいます。
- ・ 交流の機会
- ・ 今までどおり、定期的にやってほしいです。
- ・ 他のステーションさんたちとの交流を大切にしていきたいと思います。
- ・ 今日の様な劇風だと、感情移入しやすく、様々な思考が持てて良いと思いました
- ・ 頻回には難しいとは思いますが劇とグループワークと角川先生のミニ講話がとても良かったので、また楽しみにしております
- ・ グループワークはいつも勉強になることばかりなので、是非グループワークありの会をお願いします。
- ・ 今後も続けて欲しい
- ・ また定期的に参加したいです
- ・ 参加者がより増えること
- ・ 頑張って継続して下さい。
- ・ 今までどおりよろしくお願い致します。
- ・ 定期的な開催
- ・ 気張らず気さくに参加出来る事をアピールしてってください。
- ・ ステーション同士の交流会
- ・ 地域包括ケアシステム構築に資する課題を、文京区に見られる問題を具体的に捉えて、または今後生じるとされる課題を予測して話題に出来ると良いです。
- ・ 交流会の継続
- ・ ナース座の皆様、今後も期待で御座います。
- ・ モンスターな家族の対応をみんなで考えたい



以上